

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
産業・組織心理学		選択	2	3(～24) 2.3(25)	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
高田 毅	B301	t.takada	水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>産業領域の基礎理論と心理臨床、組織における集団と個人を理解することが目的である。産業領域における問題と支援、組織における集団力学やリーダーシップを理解することが目標である。</p> <p><概要>対面授業で展開する。ディスカッションやミニワークなどを通して体験を深める。事例などを用いながら、具体的に自分ならどう考えるかを言葉にし、比較対照しながら理解を深めていく。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	発言を求めながら進めるので、積極的に参与すること。 講義中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。 体験は人それぞれなので、自分の固有の体験に正直になり、学びにすることが重要である。				
教科書	必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	公認心理師の基礎と実践 第20巻 産業・組織心理学/編:新田泰生/遠見書房 産業・組織心理学/編著:山口裕幸/放送大学教育振興会				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	職場における問題に対して必要な心理に関する支援を説明できる。			HC(1)、HC(5)	
②	組織における人の行動を説明できる。			HC(2)、HC(3)	
③					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーションを行う。産業・組織心理学の全体像を理解する。	講義・演習	受講の意志を明瞭にする。授業後にコメントシートを提出する。	2	
2	産業・組織心理学の意義と方法について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
3	産業組織について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
4	仕事へのモチベーションとリーダーシップについて学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
5	働くことと法について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
6	ワーク・ライフ・バランスとキャリア形成について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
7	産業臨床心理学の視点を学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
8	産業保健の視点を学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
9	従業員支援プログラム(EAP)について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
10	組織へのコンサルテーションと心理教育、職場のメンタルヘルス対策について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
11	復職支援について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
12	再就職・障害者就労における心理支援について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
13	職場でのトラウマケアについて学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
14	産業心理臨床における心理療法について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
15	まとめとフィードバックを行う。	講義・演習	全体の学びをまとめる。授業後にコメントシートを提出する。	6	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	70	0	0	30	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	10	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	理解度を問う応用問題などから構成される。知識を用いて思考、表現ができているかどうか、学生固有の体験から学ぶことができているかを評価する。また、具体的に丁寧に書かれているかどうかを評価する。				レポートを返却し、解説とフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後にコメントシートを記入する。具体的に丁寧に書かれているか、自分の日常の体験と繋いで理解できているかを評価する。 (2点×15回=30点)				コメントシートに教員がコメントを加えて返却する。必要に応じて次回の授業で補足する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	臨床心理士として18年、公認心理師として7年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	ミニワークを数多く取り入れ、ディスカッションを軸に授業を展開する。その際にグループセラピーの技術を応用する。個人情報に配慮しつつ、事例などを用いて体験から学ぶことを促す。						
そ の 他	生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。公認心理師資格習得希望者は必ず履修すること。 授業に参加し、自ら学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。						